

第 25 回議会報告会 報告書

地 域 名	建屋地域		
年 月 日	令和 5 年 10 月 24 日 (火)	会 場 名	建屋教育集会所
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参 加 数	男性 10 人	女性 1 人	合計 11 人
班 長	西垣 司	司 会 者	西垣 司
報 告 者	西垣 司、勝地 貞一、 中島 恵子	書 記	中島 恵子
班 員 名	西垣 司、勝地 貞一、中島 恵子		
	市 民	対 応	
報 告 に 対 す る 質 疑	<p>① 台風 7 号の被害報告において、大屋地域の被害箇所数に対して、被害金額が少ない理由と被害の件数は。</p> <p>② この度の災害においても、流木が出てくるということは、切り捨て間伐が要因の 1 つとなっている。それをバイオマスにうまく利用することが必要ではないか。</p> <p>③ 議員定数のアンケート結果について、議会モニターは「多い」と「現状で妥当」が 50%と半数ずつであったが、議員では「現状で妥当」が 80%と大半を占めた。議会モニターと議員の間に開きがあったのはなぜか。議員数を減らすとの意見はどのようなものか。 期末手当に関して、議会モニターと議員との開きについてはどうか。</p> <p>④ 養父市は広いため議員定数は現状維持とする意見もあったが、民生委員の中には 3 行政区を掛け持ちしている委員もいる。この現状を認識しているのか。バランスよく配慮願いたい。</p>	<p>① 今回の台風は大屋地域は雨量も少なく、比較的被害が少なかった。大屋地域の被害箇所数は 80 カ所あったが、水田等に入った土砂を取り除き、被害額は少なかった。</p> <p>② 緩衝帯を設置し、筋工にする必要がある。今後の林業行政に反映させる必要があるのではないか。</p> <p>③ 養父市はそれぞれ谷が多く枝分かれして地域が広範囲に点在しており、住民の声を反映するには現状の議員定数が必要である。議員定数に関しては、人口比率からして減らすとの意見であった。 議員の期末手当は人事院勧告に合わせ 4.5 カ月としている自治体もあるが、養父市は現行 3.95 カ月である。 合併以来報酬は上がっておらず、経済不況時には一部カットしたが元に戻している。</p> <p>④ 議員それぞれが認識している。複数の地域を担当し、地域の実情を民生委員 1 人で掌握するのは難しい部分があるので、民生協力委員と情報共有し対応していただくことをお願いしたい。</p>	

市 民	対 応
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">報告に対する質疑</p> <p>⑤ デジタル化により市内4自治協議会で遠隔申請できるが、利用度はどうなのか。地域において求めていることなのか。</p> <p>市のアンケートでネット回答してくださいというものがあるが、20名中3名がネットで回答されていた。市民は当局が思うよりデジタルに弱い。また、末端の地域と市の政策に乖離（かいり）がある。市職員が自治協議会を定期的に巡回し、情報収集をすべきではないか。</p> <p>⑥ 空き家対策で2カ月前に要望書を提出したが、返事が全くない。</p> <p>また、用水路使用の件でも要望書を提出し、県と相談するとのことだったがその後の回答もない。</p> <p>⑦ 現状からして、認定農業者より兼業農家にもっと支援すべきではないか。</p>	<p>⑤ デジタルに関する補助金は補助率も高く、将来を見据え、デジタル化を進める傾向にあり、この度のクーポンにおいても金券でなくデジタルクーポンとした。各種書類の遠隔申請ができることも含め、地域ごとで勉強会を進める政策が必要と考える。</p> <p>⑥ 担当課に尋ねてみるが、そちらからも再度確認していただきたい。</p> <p>⑦ 市も国・県の施策を基に人・農地プランに基づく地域計画を策定すれば、計画に沿った支援が受けられることになっている。地域でまとめて、市担当者に相談していただきたい。</p>
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和5年11月15日

報告者 4班 班長 西垣 司